科目名	老年看護学概論 Introduction to Gerontological Nursing	担当教員 （研究室番号）	石橋　信江（303） 清水　律子（506）	教員への連絡方法 （メールアドレス）	

履修年次	2年次 前期	科目区分	専門科目・生涯看護学	選択区分	必修	単位数（時間）	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	否
										ｵｰﾌﾟﾝｸﾗｽ	否

科目目的	加齢による身体、精神、心理・社会的な特徴とそれに伴う生活の変化など、老年期にある人々について理解を深める。また、介護保険等の制度や認知症高齢者への看護など、高齢者を取り巻く環境を含め幅広く超高齢社会の現状をとらえ、老年看護の役割について考える機会とする。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ（DP）	主要なDP	B　人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解）
	関連するDP	A　人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。（姿勢・態度）
到達目標	1. 加齢による身体、精神、心理・社会的特徴とそれに伴う生活の変化について概略を説明できる。 2. ライフプロセスにおける高齢者の発達課題について説明できる。 3. 介護保険等の制度や超高齢社会の現状をふまえ、老年看護の特徴と役割ついて考えることができる。 4. 認知症の特徴と、認知症高齢者への看護の現状について概略を説明できる。 5. 高齢者における地域包括ケアシステムの特徴を説明できる。	
成績評価方法（基準）	試験（74%）、第2回事前課題レポート（10%）、授業毎のミニレポート（16%）	
再試験の有無と基準等	科目の合否結果で不合格となった者には、当該学生からの申請により再試験を実施する。再試験は筆記試験とし、それまでのレポート課題や出席状況は再試験の評価に加味しない。	
教科書	系統看護学講座　専門分野　老年看護学　（医学書院） 系統看護学講座　専門分野　老年看護 病態・疾患論（医学書院）	
参考書等	講義の中で必要時紹介します。	
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	講義でグループワークやディスカッションの時間を設けます。事前・事後学習課題だけでなく、関心を持った内容について文献を用いて調べ、主体的に学びを深めてください。	
備考	成人・老年看護方法Ⅲの先修条件となっています。	

回	学習項目	学習内容	主担当教　員	授業方法
１回	老年看護学の考え方 老いるとは？：ライフプロセスにおける老年期の特徴と社会の現状	オリエンテーション（老年看護の変遷、老年看護学と他の学問領域との関係）。高齢者の定義や高齢化の背景、老化学説など老年期の特徴について学ぶ。また、高齢者の家族構成・経済状況、社会生活の特徴について学ぶ。	石橋	講義
２回	高齢者の加齢による特徴：身体的側面の変化	加齢による高齢者の身体的特徴や、フレイルなど老化に伴う身体の変化を学ぶ。（グループ・ディスカッションを含む）	石橋	講義／演習
３回	老年期の発達課題と加齢による心理・社会的側面の特徴	高齢者の健康に関する特徴や老年期の発達課題について学ぶ。また、加齢による高齢者の心理・社会的側面の変化や、精神機能の特徴、知的能力の変化について学ぶ。	石橋	講義
４回	高齢者の生活と健康を支える保健・医療・福祉制度	高齢者に関わる保健・医療・福祉の変遷や、現在の高齢者保健・医療制度、介護保険制度のについて学ぶ。	石橋	講義
５回	認知症高齢者の看護①	認知症の定義、原因疾患、主なスクリーニングテスト、治療、症状の特徴と看護、人権を守るための制度について学ぶ。	石橋	講義
６回	認知症高齢者の看護②	認知症看護に関係する社会および医療の状況、認知症高齢者への看護における理念や原則、非薬物療法等について学ぶ。	石橋	講義／演習
７回	高齢者における地域包括ケアシステムと看護の役割	高齢者が最期まで住み慣れた場でその人らしく生活できるために必要な包括的な支援やサービス提供体制について学ぶ。	清水	講義／演習
８回	高齢者の介護・高齢者虐待 まとめ	高齢者の介護の現状と家族支援、高齢者虐待、身体拘束・身体抑制について学ぶ。	石橋	講義

学　習　課　題

1回目課題（事前）：自身の祖父母・曾祖父母の年齢や、高齢者との過去の思い出について振り返り、老年期の特徴について自己学習する。
（事後）：高齢者の定義、平均寿命を含め、老年期を生きる高齢者の特徴を整理する。

2回目課題（事前）：加齢による身体的側面の変化について自己学習し提出する。（配点10点：自己学習内容をグループワークで発表する）
（事後）：グループワークを通して学んだ内容を整理する。

3回目課題（事前）：「元気で長生きする」ためにはどうすればよいか、加齢による心理・社会的側面の変化について自己学習する。
（事後）：高齢者世帯の特徴・受療率・死因、高齢者の「豊かな側面」とは何かについて整理する。

4回目課題（事前）：高齢者保健・医療制度および介護保険制度とサービスの特徴について自己学習する。
（事後）：現在の高齢者保健・医療制度および介護保険制度とサービスの特徴について整理する。

5回目課題（事前）：今までに学習した認知症および認知症看護について自己学習し、疑問点を明らかにする。
（事後）：認知症の原因疾患や症状の特徴、認知症の人や家族へのかかわり方について整理する。

6回目課題（事前）：認知症高齢者への非薬物療法について自己学習する。
（事後）：認知症看護に関係する社会および医療の状況、看護における理念や原則について整理する。

7回目課題（事前）：高齢者を対象とした地域包括支援システムの取組の実際を調べる。
（事後）：高齢者における地域包括ケアシステムの学びを整理する。

8回目課題（事前）：高齢者の介護・高齢者虐待について自己学習する。
（事後）：高齢者の介護の現状と家族支援、高齢者虐待、身体拘束・身体抑制について整理する。老年看護の役割について考える。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。